

取組名称	不要となった服を回収し、新たな息吹を吹き込む無料譲渡活動『服活』			団体設立後の経過年数	8年目
応募取組主体名称	徳島県立那賀高等学校	活動地域	徳島県	応募取組の活動年数	8年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	不要となった服を回収し無料譲渡するこの活動の目的は、「廃棄物の削減と資源の有効活用」と「生活困窮者支援（衣類バンク）」である。また、この活動により共感と協力の精神が生まれ、地域社会との連帯感が強まる。これらの要因が合わさることにより、持続可能な社会を築くための一助となる。
実績の要旨	「服活」の活動は、今年度で8年目を迎え、これまでに21,000着を無料譲渡することができた。環境省の調べによると、8.6tのCO2を削減できたことになる。服活利用者の中には、衣服の提供や回収に協力してくださる方も多い。回収に協力してくださる企業や、展示・譲渡ブースを貸してくださる企業、残反を無料で提供してくださる企業などが興味を持ってくださり、参画していただいている。

取組評価の要旨	環境への貢献	21,000着を譲渡することで、8.6tのCO2排出量を削減することができている。
	社会・経済への貢献	無料譲渡なので、生活困窮者支援として貢献できている。また、海外にも譲渡しているので国際支援にもなっている。
	地域資源の活用	地域の特産品である木頭杉を利用した回収BOX I や授業で出た廃材を利用した「服活マグネット」を制作し配付。相生晩茶の煮汁を利用した晩茶染めガーゼマスクやバックパネルを制作。
	普及・汎用性	不要な服の回収を呼びかけることで、廃棄せず「服活」に協賛していただけるよう広報している。
	革新・ユニーク性	新品の服も中古品もすべて無料。枚数制限もないので、何着持って帰っても良い。
	継続性	今年で継続8年目。利用者は年々増え、ほしい服のリクエストもいただく。イベント出店の依頼もいただき、活動の幅は広がっている。譲渡できない服をリサイクルボードにアップサイクルすることで100%再活用を目指して活動中である。

展望の要旨	高校生の若い力が発信力となり、環境に配慮した生活が「ふつうごと」となるよう若者文化の中に醸成していくことを目指している。
-------	--